

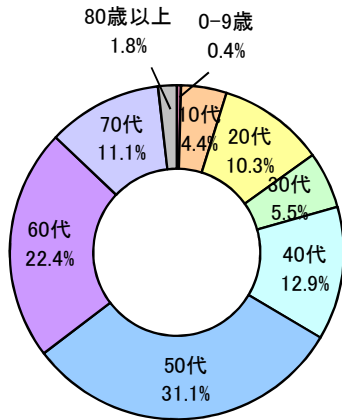
特別展「きもの KIMONO」

アンケート集計結果

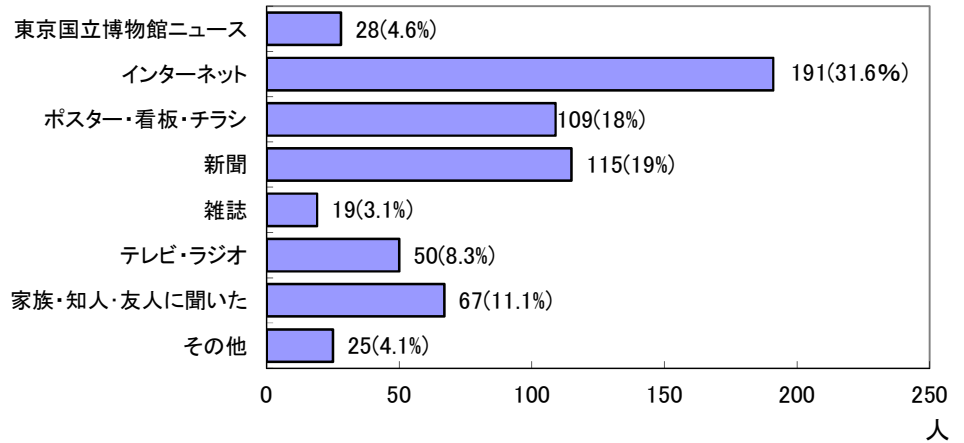
開催期間：令和2年6月30日（日）～令和2年8月23日（日）（48日間）

回答者数：496人（総入館者数：91,830人 アンケート回収率：20.88%）

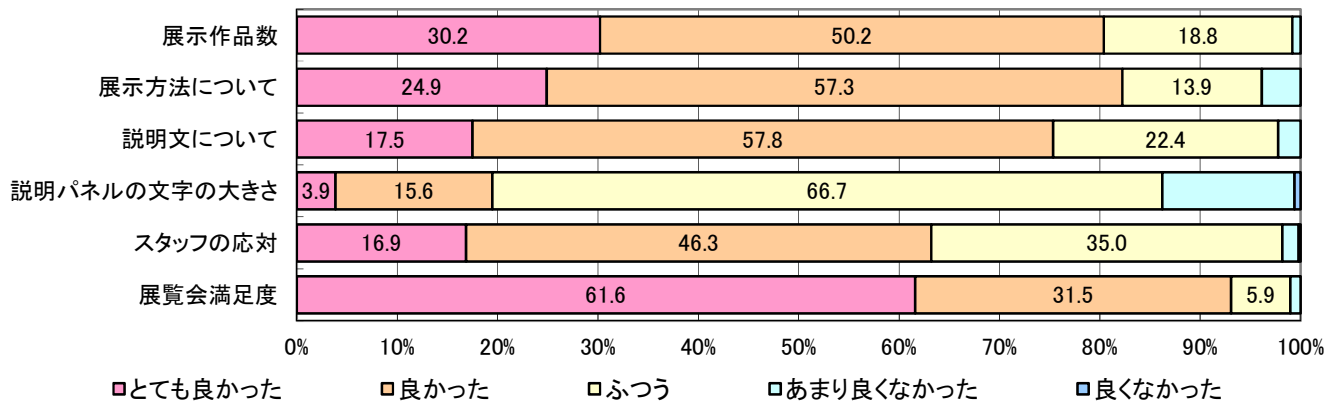
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・コロナ対策による予約制のため今までより展示室内の人が少なく、ゆっくり見ることができてよかった。
- ・コロナ禍の中、安心して展示を見ることができた。
- ・見ごたえがあり、きものがとてもきれいで良かった。
- ・きものの良さをさらに感じた。
- ・順路が分かりづらかった。
- ・音声ガイドを聞くポイントが分かりづらかった。
- ・説明文が少し難しかった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	0.8	0.0
展示方法	3.9	0.0
説明文	2.2	0.0
文字サイズ	13.2	0.6
スタッフの対応	1.6	0.2
展覧会の満足度	1.0	0.0

(%)

本展は、信長・秀吉・家康・篤姫など歴史上の著名人が着用したきものや、尾形光琳（おがたこうりん）直筆の小袖に加え、きものが描かれた国宝の絵画作品、さらに現代デザイナーによるきものなど約300件の作品を一堂に展示しました。そして800年以上を生き抜き、今なお新たなファッション・シーンを繰り広げる「きもの」を、現代を生きる日本文化の象徴として展覧し、その過去・現在・未来を見つめる機会となりました。新型コロナウイルスの影響により、会期の変更や事前予約制（日時指定券）の導入など特異な状況での開催となりましたが、本展覧会を観覧しアンケートに答えた93%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。また印象に残った作品として、信長の陣羽織、篤姫の着物、火消半纏、久保田一竹氏の作品やYOSHIKIMONOをあげられるお客様が多くいました。

その一方で、順路が分かりづらかった、音声ガイドを聞くポイントが分かりづらかった、説明文が少し難しかったなどのご意見をいただきました。

今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。